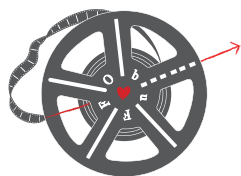


映画に、をしよう。

初めて映画を観た、あの頃。
主人公に憧れた、あの頃。
青春を教えてくれた、あの頃。
正義を知った、あの頃。
きつと映画は、
あなたの人生を豊かにしている。
それはまるで、
あなたを愛してくれた人のように。
ここでまた、銀幕と向き合い、
もう一度恋をしませんか。
銀幕を知らないあなたは、
勇気を出して
初恋をしましょう。

第2回 大府ショートフィルムフェスティバル

～映画に恋して、出会いを紡ぐ映画祭～



Obu Short Film Festival

映画に、恋をしよう。

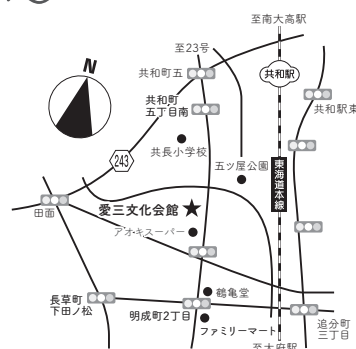
日程 2019.1/25 (Fri)～1/27 (Sun)

会場 愛三文化会館(大府市勤労文化会館)
愛知県大府市明成町一丁目330番地

入場料 ¥500
(小学生以下無料)

お問合せ先 0562-48-6151

詳細はHPをご覧ください <https://www.obufilmfest.net>



主催：おおぶショートフィルムフェスティバル実行委員会、大府市、大府市文化協会・(株)ピーアンドピー共同体

俳優・映画監督の津田寛治氏、アニメーション監督の秦俊子氏が特別ゲストとして来場！ 監督、製作関係者16名以上とのトークイベントも開催！映画にとことん浸れる3日間！

{1/25(金) もちのきホール 18:30~20:30}

「狐憑き」

～大府民話 きつねに化かされた旅人～(15分)

制作:名古屋市立大学栗原研究室



時代設定は江戸末期頃(慶応元年)。薩長同盟が慶応二年一月に提携される。そのための密命を受けて薩摩から大府市内を通過して江戸に抜ける途中のお話。設定の場所は愛知県大府市付近。江戸時代の新田開拓から現在に続く環境破壊を動物の心境になぞらえて綴る(暗喩する)作品。おおぶの民話を原作とした短編映画。時代考証を鑑みて北海道開拓の村ほかで撮影。インディペンデント映画では珍しい時代劇をモチーフにした作品。

セントキルダ映画祭 Best Short Film賞

「Lost Property Office」(15分)

監督: Daniel Agdag



大府市の姉妹都市ポートフィリップの老舗映画祭、セントキルダ映画祭から秀逸なアニメーション短編映画が届けられました。壊れたロボットを丁寧に修理する主人公。言語関係なく世界を堪能できます。とても丁寧に作られた世界が印象的です。

「センターライン」(67分)

監督: 下向拓生



自動運転AIが発展した平成39年。新人検察官米子天々言(よなごあまね)は、閑職部署である交通部に配属される。処遇に不満な米子は、死亡事故を起こした自動運転AIを過失致死罪で起訴しようと画策。しかし、「彼」は「わざと殺した」と供述する…。第1回映画祭にて、「N.O.A.」で監督賞を受賞された愛知県出身の下向拓生監督のSF法廷サスペンス。ほぼ愛知県出身の役者、スタッフで愛知県内で制作。福岡インディペンデント映画祭グランプリ他、映画祭にて数々の賞を受賞。

出演者来場！
トークセッションも
あります。

{1/26(土) もちのきホール10:00~18:30}

セレクト作品

「自由部門6作品・アニメーション部門5作品」

全国各地から応募のあった作品の中から厳選したセレクト作品を上映！各作品の監督も来場してトークセッションもあります。自由部門は当日観客投票による賞が決定！



知多半島映像プロジェクト

「あのまちの夫婦」(25分)

監督: 津田寛治



知多半島映画祭で制作した知多半島オールロケ作品。出版社で働いている相馬は宮原記者。同じ職場の相馬は人見知りの若い問題児カメラン。二人は編集長からコンビを組まされ、組むことに。ある日相馬は相馬を自宅に招いて妻の手料理を振る舞った。静かに自然体で生きた相馬夫妻をみて、相馬の心はゆっくりと動き出す。

招待作品

津田寛治さんも来場！

ワールドシアタープロジェクト

「映画の妖精 フィルとムー」(8分)

監督: 秦俊子



俳優で映画監督の斎藤さんが企画、NHKおかあさんといっしょなどのアニメーションを手がける秦俊子監督作品。廃墟でひとりぼっちで暮らしているフィル。その表情はどこか寂しげである。そんなフィルの前に突然映写機が現れ、カタカタと鳴るフィルムロールの音とともに古いフィルム映像が映し出される。突如現れたムーによってスクリーンの中に誘われるフィルム。フィルとムーの旅が始まる。世界の子どもたちのためにつくられた短編クリエイティブアニメーション。

招待作品

秦俊子さんも来場！

日本短編映画「BAKEMONO」(45分)

監督: 大嶋英幹



ヨーロッパ、カナダ、ロシア等の海外の映画祭で13部門受賞。自由な時代になったにも関わらず、表現の自由を自ら封印している現代社会に問いかける。刀という表現に生きた武士は時代錯誤なのか、新しい価値に無条件に全てを委ねることが正しいのか。「選択できる」今だからこそ、みて、感じてほしい。

招待作品

「動いたように思う」(40分)

監督: 岩田隼之介



大府子ども歌舞伎教室に通う子ども達の表情を追ったドキュメンタリー。歌舞伎の稽古をする事も友達とかけこをする事も隣り合わせな子ども達の社会にカメラを向けた作品です。大府の高校に通う高校生たちと制作した短編映画「おひねり」も同時上映。

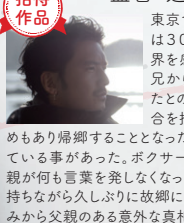
{1/27(日) もちのきホール10:00~16:00}

知多半島映画祭

グランプリ受賞監督作品

「あの日の伝言」(30分)

監督: 遠藤健一



東京でボクシングをしている修は30歳を過ぎて年齢的な限界を感じていた。そんなある日、兄から電話が入り父親が倒れたとの報告を受ける。間近に試合を控えていたがコーチのすすめもあり帰郷することになった修はずっと心に引きずっている事があった。ボクサーになると決めた時から父親が何も言葉を発しなくなったのだ…。そんな気持ちを持ちながら久しぶりに故郷に訪れた修だったが、幼なじみから父親のある意外な真相を知ることとなる。

招待作品

あいち国際女性映画祭

短編フィルム部門グランプリ作品

「いきうつし」(30分)

監督: 田中晴菜



仏師として立ち行かず、見世物小屋の生人形制作で糊口をしのぐ亀八。興行で立ち寄った土地の名工から不治の病におかされた娘を美しいまま写した人形制作を依頼される。一度も家の外に出たことのない椿と興行で土地を転々とする亀八。二人は次第に惹かれ合うが、人形の完成が近づくと、椿の身体は動かなくなっていく。

招待作品

セレクト作品

「学生部門4作品」

学生が制作した応募作品の中から秀逸な作品を上映！



映画に
恋
しませんか？



{1/26(土) くちなしホール}

10:30~14:30

子ども向け作品上映

小学生以下
入場無料！



「映画の妖精 フィルとムー」



「PACALIEN」



「Lost Property Office」



「わたしとあさみちゃんとペロペロおじさん」

{ワークショップ 10:00~15:30}

1/26(土) 展示室

1/27日(日) くちなしホール



大人から
子どもまで
楽しめます！

{ マルシェ 10:00~15:30 }

1/26・27(土・日) 屋外プラザ



美味しい
食べ物が
たくさん！